

2022 年度オーシャンチャレンジリーグ(OC リーグ) 実施要綱

趣 旨：2022 U-12 サッカーリーグ in 千葉の趣旨には賛同するが、JFA 公認コーチ資格者や千葉県公認審判員の不足、またグラウンド提供や会場運営などが困難等の理由により、同大会への登録および複数チーム登録が困難なクラブ等を対象とし、選手の試合経験の確保と技術向上を目的とし開催する。

名 称：2022 年度 オーシャンチャレンジリーグ(以下、「OC リーグ」といいます。)

主 催：OC リーグ運営委員会(事務局：習志野 MSS・香澄)

主 管：OC リーグ参加各クラブ

参加資格：OC リーグの趣旨に賛同するクラブに所属している選手

大会参加費：1 チーム 7,000 円とする

大会日程：●前期リーグ期間

4 月 16 日（土）から 7 月 31 日（日）までに終了させることが望ましい。

●後期リーグ期間

9 月 3 日（土）から 12 月 25 日（日）までに終了させることが望ましい。

運営方法：(1) 9 チーム総当たり、前期・後期それぞれ 4 節ずつ、全 8 節のリーグ戦とする。各節 3 チームずつのグループを 3 つ作り、グループごとに会場を確保し運営を行う。なお、飲水タイムやクーリングタイムの採用については、各会場にて WBGT 等を用いて当該参加チーム間で判断する。

(2) メール等での各クラブ間の連絡については、**1 両日中には何らかの返信をして意思表示をすること**。ただし、回答期限等があらかじめ指定されているメール等はこの限りではない。

(3) 試合結果は会場提供クラブが当日中に下記メールアドレスまで報告すること(画像でも可とする)。

<メールアドレス>msskasmi1969@gmail.com (習志野 MSS・香澄代表アドレス)

(4) 大会参加費は、前期習志野 MSS・香澄会場で対戦する際に支払い、習志野 MSS・香澄は領収証を発行する。また会場提供クラブに対して運営費 1,000 円/日を支払い、会場提供クラブは領収証を準備すること。

(5) 会場への移動で車を使用の際は 1 チーム 4 台を基本とし、会場提供クラブの指示に従うこと。また、必ずダッシュボードへチーム名を記入の上駐車票を掲示すること(各チーム作成のものでも可)。

(6) エントリー表、審判証、指導者資格者証、メンバー表の提出は行わない。必要なものはリスペクトの精神のみとする。

(7) 新型コロナウイルス対策については、2021 年 3 月 27 日付千葉県サッカー協会第 4 種委員会 HP 掲載の新型コロナウイルス感染症対策について(2021 年 3 月 27 日改訂 2 版)に準ずる。

<http://www.pcs.co.jp/result/keijiban/2021/2021Cornataisaku0331.pdf>

・ 観戦については会場提供クラブの指示に従うこと(観戦者は 2 メートルほどのソーシャルディスタンスをとる等)。

・ **ベンチの際に座る長椅子や指導者用椅子は、すべて各チームがそれぞれ持ち寄ること。**

・ 健康チェックシートについては、会場提供クラブが用意(会場提供クラブ所定の書式に従う)し、参加クラブは会場提供クラブの指示に従って新型コロナウイルス感染症対策に協力すること。

(8) リーグ戦の順位決定方法は、前期後期を通算し、勝利 3 点、引分 1 点、敗戦 0 点の勝ち点により勝ち点の多い順に年間順位を決定する。尚、勝点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。

① 全試合の得失点差

- ② 全試合の総得点
 - ③ 当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
 - ④ ①～③の全項目において同一の場合は、抽選による
- (9) 新型コロナの感染が拡大し「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」等により全日程の終了が見込めないと事務局が判断した場合の順位決定については、前項(8)を適用せずに事務局より参加各クラブにその決定方法を提案する。

表彰：運営方法(8)または(9)によって決定された順位に応じて、以下の通り表彰する。

- (1) 優勝チームは、優勝カップならびに選手全員に優勝メダルを授与する。
- (2) 準優勝、ならびに第 3 位のチームは、選手全員にメダルを授与する。
- (3) 第 4 位から第 9 位のチームには、優秀選手賞・敢闘賞・コーチ賞の盾を授与する。
- (4) 前項(1)(2)について、メダル数は参加選手人数を上限とし、かつ最大 15 個までとする。チーム事情等により 15 名超の選手が参加した場合は、16 個目より実費でメダルを授与する。
- (5) 当該表彰にかかる費用は、すべて各クラブからの参加費をもって賄うこととする。また、事務局より年度末に表彰式を開催した際に、表彰にかかる費用の収支報告を行ない、参加クラブの承認を得ることとする。

競技規則：（公財）日本サッカー協会競技規則最新版による。但し「8 人制サッカールールと審判法」の適用に当たっては以下のように修正を加え、OC リーグの規則として定める。

- (1) 競技のフィールドについては、参加クラブ協議の上、臨機応変に対応する。
- (2) JFA 検定 4 号ボールとする。
- (3) 競技者の数および交代
 - ① 8 人(うち 1 人はゴールキーパー)を基本とする。
 - ② 交代要員および交代の最大人数は制限しない。交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない、自由な交代とする。
 - ③ 交代の手続き：
 - i. 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールド外に出る。
 - ii. 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - iii. 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる（但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい）。
 - iv. 交代について、主審の承認を得る必要はない。
 - v. ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
 - ④ 試合成立の競技者の人数は、参加クラブ協議の上、臨機応変に対応する。

(4) 競技者の用具

- ① 試合用ユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）は正副 2 着用意する。シャツには胸番号・背番号をつける。やむを得ない理由がある場合は当該チーム間で協議のうえ、合意できればビブス着用でも可とする。
- ② 競技者は靴を履く必要がある。ただし、スパイクは固定式とする。
- ③ 競技者および交代要員の用具は試合開始前に主審または審判員によって検査される。
- ④ 眼鏡については、主審が安全であると判断したものは着用できる。

(5) 審判

- ① 当該クラブ以外から主審を出すこととする。原則 1 人審判とし、審判服を着用する。
- ② 当日会場において、当該クラブ間の試合のみを開催する場合は、当該クラブから前後半に分けて主審を

務めることとする。

- ③ 前 1 項、2 項にとらわれず副審、第四の審判を出す場合は、各節の会場毎に当該 3 クラブにて協力して行なう。
- ④ 主審は、フェアプレー精神あふれる行動やリスペクトある行動を取った競技者にグリーンカードを示す。

(6) 試合時間

- ① 試合時間は 40 分間とする。(前後半とも 20 分間)
- ② ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始までの時間)は 5 分間とする。

(7) プレーの開始及び再開

キックオフから直接相手のゴールに入った場合、得点は認められず、相手のゴールキックで再開される。

(8) ファウルと不正行為

- ① 競技者が退場を命じられた場合、チームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
- ② 累積警告 2 回は次の 1 試合を出場停止とする。
- ③ 退場の場合は次の 1 試合を出場停止とし、その後の処置については OC リーグ運営委員会の裁定による。

- その他：(1) 参加チームの関係者は、日常において新型コロナウイルス感染防止のための「新しい生活様式」に従って感染防止対策を実践していること(千葉県サッカー協会 4 種 HP 新型コロナウイルス感染症対策を参照)。
- (2) リスペクト精神の欠けた言動を複数クラブより指摘された指導者、選手、保護者があった場合、OC リーグ運営委員会で事実関係を確認・協議の上、大会参加資格を剥奪することがある。